

特別支援教育学習指導案

指導者 野口 慶子

日時 平成30年11月17日(土) 第3校時(13:15~14:05)
年組 中学校第3学年3組 計4名(女子4名)
場所 中学校第3学年3組教室
単元 「自分をみつめて」～わたしの夢☆○○○と過ごす余暇の計画～

単元について

本学級の生徒は障害の程度が中・軽度の知的障害を有する生徒を対象とした学級である。集団での活動を軸に、自分らしさを大切にしながら行事の計画や実施まで話し合いと合意形成をして実施する体験を繰り返しおこなっている。個別には語彙も増えてきており、自分のやりたいことを正確に伝えたり、課題に気づいてそれを調べたりすることができる生徒もいる。また、4名とも絵を描くことが好きで、テーマに沿って絵を描き、その絵を言葉につなげるという方法で自分のイメージを形にする学習も繰り返し行ってきている。

本単元「自分をみつめて」～わたしの夢☆○○○と過ごす余暇の計画～では、一人ではなく誰かと共にという条件を想定し余暇の計画を立て、その夢を実現するための課題を発見する。また、発見した課題とその解決策を考えることで、現在と未来がつながっていることをイメージし、自分らしい進路を考える力になると考えた。

指導法としては、家族にインタビューを行い、余暇を過ごす時の課題や工夫を聞きまとめる。それを参考にいっしょに過ごす誰かを想定し余暇の活動計画をする。また、それをクラスの仲間に説明し交流することで課題を発見していく。発見した課題については解決法などを話し合い、それを受けて、考えたことや調べたことをまとめ、さらに交流することで思考の手順を経験させる。

指導目標

1. 身近な人に聞いた課題や工夫のメモを踏まえて、自分の余暇の計画を立てることができるようにする。
2. 人との話し合いの中で自分の余暇の計画に必要な課題を発見し、課題解決の手立てを考える経験をさせる。

指導計画(全8時間)

1. 宿題【家族への余暇インタビュー】を交流し、余暇の過ごし方での課題や工夫を共有する 1時間
2. 単元「自分をみつめて」～わたしの夢☆○○○と過ごす余暇の計画～導入…………… 1時間
3. 課題を踏まえて余暇の計画をイメージし、調べてまとめる…………… 2時間
4. 中間交流、質問、課題発見、話し合いの中で課題解決法をさぐる…………… 1時間(本時)
5. 課題解決のための、リサーチとまとめ…………… 2時間
6. 考えたこと、リサーチ結果の交流、振り返り…………… 1時間

本時の目標

仲間の余暇計画を聞き、交流することで計画に必要な課題に気づくことができる。課題解決のために次に自分が考え、調べることを受け止め、意欲をもって取り組むことができる。

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援

生徒	本時に関わる、生徒実態	個別の目標	目標達成のための支援
A	語彙が増え、自分の考えを言葉で伝えることに積極的である。また、課題解決に粘り強く取り組む。	自分の課題を理解し、解決することで、現在と未来のつながりをイメージできる。	話型やヒントカードを準備し、課題解決の方法や対話的思考を繰り返す。
B	自分の考えを正しい言葉で伝え、課題について受け止め考える姿が見られる。	自分の課題を受け止め、正しく理解し、解決策を考えることができる。	授業者の問いに答える場面を設定し、課題の理解を促す。
C	自分が関心のあることには集中できる。二語文を話す、自分の考えていることを言葉にすることは難しい。	仲間の話を聞き、話型を使って質問できる。自分の課題に気づくことができる。	話型やヒントカードを準備し、質問やアドバイスの機会を増やす。
D	自分の考えを伝えることができる。他者と自分の思いと違う場合を受け止めるのに時間がかかる。	自分の課題を受け止め、解決することに意欲をもつことができる。	授業者の問いに答える場面を設定し、課題の理解を促す。

学びを豊かにするための手立て

授業者は生徒が個々の趣味、趣向を意識し、日々の細やかな出来事のおしゃべりをひろい、いろいろな授業で生徒が描く絵を媒介に対話をしながら言葉をあてはめ、納得した言葉をメモするように促している。前時は家族からの余暇活動インタビューで共有した課題や工夫をふまえて、個々の余暇計画を、絵を媒介にして言葉にまとめた。本時は、質問の話型を準備し、新たに課題に気づく場面設定にしていることが、第一の手立てである。また、授業者は課題解決の手立ても、ヒントカードなどを準備しておき、生徒が解決法に気づき、選択、提案できるようにしていることが第二の手立てである。

学習の展開

学習活動 (□) と評価 (◆)	指導上の留意点 (・) と支援 (■)
□本時の学習について、交流方法を確認する。 (前時に余暇計画をつくっている)	・プロジェクター・メモ用ホワイトボードを準備する。 ・発表する順番を確認させる。 ・話型・ヒントカードの使い方を説明する。

<p>□仲間の発表を聞き、質問をする。</p> <p>□質問を受けて、考えて答える。</p> <p>□課題が発見された場合の解決法を、話し合いができます。</p> <p>◆自分の課題に気づき、課題を受け止めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 1人ずつ発表するごとに、課題発見と解決法をさがさせる。 ■生徒の言葉を、整理する問いを行い発表のサポートをする。 ■質問の話型・解決策のヒントカードを提示しておき、課題に気づくことを促す。 ■解決法の板書をする。
<p>□本時のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の課題についての整理 ・次回やることの確認 <p>◆自分の課題を次回解決する意欲をもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 次回への意欲につながる言葉がけを行う。

準備物 プロジェクター、質問の話型、解決策ヒントカード、メモ用ホワイトカード

座席表

ホワイトボード

C

A

B

D